


# ペムブロリズマブ（キイトルーダ）療法

## ★今日の点滴のスケジュール

	薬の名前	点滴時間	薬の効果
1	ペムブロリズマブ _____mg	30分	体の免疫機構に働きかけてがん細胞の増殖を抑える薬です。

\*点滴終了後、針を刺している部分の炎症防止のため生食 50mL を点滴します。

## ★1クール（14日間）のスケジュール

薬の名前	1日目	2～14日目
ペムブロリズマブ		お休み

### お休み期間について

左の表の14日間を1回の治療として繰り返し行います。症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。

## ★点滴当日に注意していただきたいこと

- ・点滴部位に異常な痛みを感じたり、点滴部位の周囲が腫れてきたり、かゆみや不快を感じたら早めに医療スタッフまでお知らせください。（血管外に点滴が漏れている可能性があります。）
- ・点滴中に気分が悪くなったり、何か気になる症状が現れた場合には早めに医療スタッフまでお知らせください。

## ★特に注意したほうがよい副作用

### 間質性肺炎

まれに間質性肺炎（肺胞の壁に炎症が起こる病気）が起こることがあります。炎症が進むと命に危険が及ぶ恐れがあります。早期発見が一番の治療ですので、息切れや呼吸のしにくさ、咳や発熱があった場合にはすぐにご連絡ください。



### 重症筋無力症・筋炎

神経から筋肉への情報伝達がうまくいけなくなり、疲れやすくなったり力が入らなくなったりします。息がしにくくなることもあります。

### 大腸炎・重度の下痢

下痢や大腸の炎症を併発することがあります。腹痛や血便の症状とともに発熱を伴う場合もあります。

### 1型糖尿病

糖尿病を併発することがあり、インスリン注射による治療が必要になることがあります。尿量が多い、意識の低下、倦怠感や脱力感の症状が現れることがあります。

### 肝機能障害・肝炎

血液中の肝酵素が高くなり、皮膚や目が黄色くなったり疲労感が出る場合があります。

### 腎機能障害

腎臓に炎症が起こる腎炎を発症することがあります。

## 副腎障害

副腎機能が低下することで血糖値が下がることがあります。急性の場合は、意識が薄れるなどの症状が現れることがあります。

## 甲状腺機能障害

新陳代謝を活発にする甲状腺ホルモンなどを分泌する内分泌器官に炎症を起こします。疲れやすくなったり、体重増加や減少、行動の変化(気分がむらが出る・いらいらする・物忘れしやすい)などが見られます。

## 神経障害

神経に炎症が起こり、感覚や運動にかかわる神経が障害される病気です。手足のしびれや痛み、麻痺などの症状が現れることもあります。

## 脳炎

脳や脊髄に炎症が起こる病気です。精神障害や意識障害が起こることがあります。

## 重度の皮膚障害

皮膚や粘膜など、全身に広がるような重度の皮膚症状が起こることがあります。

## ぶどう膜炎

眼の中に炎症が起こり、目がかすんだり見えにくく感じたりすることがあります。

**副作用に対しては、主にステロイドによる治療を行います。治療継続のためには副作用の早期発見、早期治療が必要になります。**

**症状が現れた場合は速やかにスタッフにお申し出ください。**

**ご自宅で以下の症状が現れた場合は必ずご連絡ください。**

- ・ 38 度以上の発熱があるとき
- ・ 1日の半分以上を寝たきりで過ごさなければならないほどのだるさがあるとき
- ・ 吐き気止めの内服をしても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- ・ 1日7回以上の下痢があるとき

上記以外でもご自宅でいつもと違うと感じた時には我慢することなく、以下の連絡先にご連絡ください。

電話：0476-22-1500（代表）



Medical Center NARITA HOSPITAL

医療法人鳳生会 成田病院

※ご連絡の際はお手元に診察券をご用意ください。